



① 有機物の乾燥

有機性廃棄物を処理準備室に投入し待機させた後、熱分解室に投入し処理を開始します



② 熱分解

廃棄物は灰化層を通るヒーターの排熱を熱源として加熱され熱分解します



③ ガス処理

熱分解に伴い発生した不要なガスを洗浄によって除去します



④ ガス処理

熱分解に伴い発生したガスの臭いを加熱によって除去します



⑤ 処理終了

廃棄物は炭化物となって処理は終了します



⑥ 灰化

炭化が進み灰化した残渣物は、次廃棄物の乾燥、分解の熱媒体になります



⑦ タール回収

熱分解に伴い発生したタールは、熱分解室内にもどし熱源の一部として再利用します



⑧ 残渣利用

熱分解後の野菜くずや家畜廃棄物の残渣物は、肥料、消臭剤等にご利用いただけます



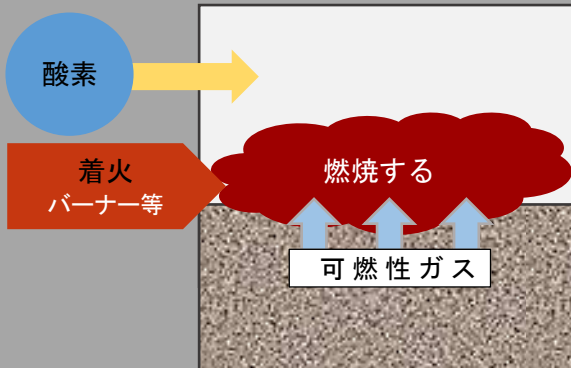
⑨ 残渣処理

熱分解を終えて発生した残渣物は、最終処分場で処理します

もっともっと簡単に熱分解のこと

焼却

有機物から発生した可燃性ガスは、外部から酸素を供給する環境下で燃焼を継続することで酸化ガス+水+焼却灰を生成する。



熱分解 パグマII

有機物から発生した可燃性ガスは、外部から酸素を供給しない環境下では燃焼を継続することが出来ず、加熱により可燃性ガス+タール+炭に似たようなチャーを生成する。

